

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」	2,300	2,590	△290				2,300	
トータルコスト	3,914千円（前年度4,247千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	補助金交付業務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標（指標）	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から小学校入学前の乳幼児（以下「未就学児」という。）の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。

2 事業費

補助金 2,000千円（間接補助金、補助率：県1/2）

事務費 300千円（情報交換会経費）

<補助事業の概要>

（単位：千円）

事業区分	事業内容	平成22年度以降の変更点等	(21年度) 予算額
アートスタート活動支援事業	市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体への助成	○団体への直接補助金から、市町村を通じて団体を支援する間接補助金へ移行。 ※団体自ら公演等を実施する場合は、鳥取県文化芸術活動支援補助金（次世代鑑賞者育成支援事業）で対応。	(2,000) 2,000
【新】情報交換会の開催	アートスタートに係る情報や課題等を共有し、県内の次世代鑑賞者育成に資するため、補助事業者及び市町村担当者等による情報交換会を開催	○アートスタート発信事業の廃止に伴い、アートスタートに係る情報や課題を共有するため。	(-) 300

<平成21年度限りで廃止する事業>

○アートスタート発信事業（21年度予算額 500千円）

団体、市町村、県の間で情報共有を図る情報交換会の開催に組替え。

○アートスタート活動支援事業選定委員会（21年度当初予算額 90千円）

アートスタート活動支援事業の間接補助金化に伴い、事業選定を市町村が行うため廃止。

3 これまでの取組状況

○平成16年度からモデル事業を実施しており、近年では事業数や実施団体数など確実に伸びてきている。

〔平成19年度：6市町村 4団体10事業〕  
〔平成20年度：8市町村 9団体13事業〕  
〔平成21年度：9市町村10団体17事業〕

○しかし、未実施地域への一層の取組や地域に密着した事業運営が行われる中で、日ごろ芸術・文化活動に積極的に参加しない家庭へのアートスタート事業の周知など、環境整備が課題とされた。

○未就学児へのより積極的な働きかけが可能な市町村の関与が不可欠として、市町村間接補助金への移行を検討した。